

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-204762

(P2001-204762A)

(43)公開日 平成13年7月31日(2001.7.31)

(51)IntCL' 譲別記号
A 61 F 13/496
13/49
13/15
5/44

F I
A 61 F 5/44
A 41 B 13/02
T

7-73-1*(参考)
H 3 B 0 2 9
U 4 C 0 9 8

審査請求 未請求 請求項の数14 O.L (全4頁)

(21)出願番号 特願2000-20340(P2000-20340)

(71)出願人 000183462

株式会社クレシア

東京都新宿区西新宿六丁目22番1号

(22)出願日 平成12年1月28日(2000.1.28)

(72)発明者 高畠 謙治

東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社ク
レシア内

(72)発明者 林 伸臣

東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社ク
レシア内

(74)代理人 100063484

弁理士 畠浦 清

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 完全パンツタイプ紙おむつ

(57)【要約】

【課題】着用感およびフィット性に優れた完全パンツタイプ紙おむつを提供する。

【解決手段】パンツの前身頃および後身頃全域に、左右方向に走行する弾性体条を、夫々非交叉状に多数本配設したキャザー構成を有し、各弾性体条はその太さと走行距離により段階的に変化する張力で配設してなる着用感およびフィット性に優れた完全パンツタイプ紙おむつ。

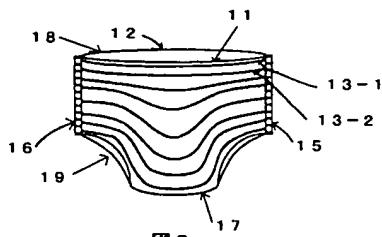


図3

BEST AVAILABLE COPY

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】パンツの前身頃および後身頃全域に、左右方向に走行する弾性体条を、夫々非交叉状に多数本配設したギャザー構成を有することを特徴とする完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項2】ウエストギャザー域の弾性体条、フィットギャザー域の弾性体条およびレッグギャザー域の弾性体条がそれら各域の境界域なしに連続的に前後に配設されていることを特徴とする請求項1記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項3】前身頃および後身頃全域に配設された多数の弾性体条からなるギャザー構成が全体として木目状配置を探していることを特徴とする請求項1または2項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項4】前身頃および後身頃の弾性体条群は左右のシールライン部では前後に略均等に配設され、各弾性体条は夫々の中間部に行くに従い股下部に向かって膨出湾曲状に張り出していることを特徴とする請求項1から3までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項5】弾性体条群の各弾性体条が股下部に向かって膨出湾曲状に張り出している度合いが、ウエスト部からレッグ部に向かって漸次増大していることを特徴とする請求項4記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項6】各弾性体条はその太さおよび/または走行距離により段階的に変化する張力で配設されていることを特徴とする請求項1から5までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項7】左右のシールライン間に等長の弾性体条群を前後に夫々等テンションで掛け渡し、各弾性体条を夫々中間部に行くに従い股下部に向かって膨出湾曲状に張り出させ、かつその張り出しど合いをウエスト部からレッグ部に向かって漸次増大せしめて各弾性体条の張力をウエスト部からレッグ部に向かって段階的に増大させたことを特徴とする請求項1から6までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項8】各弾性体条の張力を80gから40gに亘って段階的に変化させていることを特徴とする請求項5から7までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項9】ギャザー構成が、前身頃および後身頃を前後方向に通る中心線に対して左右対称であり、股下部を左右方向に通る中心線に対しては前後対称もしくは前後非対称であることを特徴とする請求項1から8までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項10】前身頃および後身頃における各弾性体条群の股下部に向かって張り出した各膨出湾曲部の最接近間隔が20mm以上であることを特徴とする請求項1から9までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項11】前身頃および後身頃が股下部を介して連

続した略砂時計様の展開形状をもち、それら前身頃および後身頃の対応両側縁をシールラインとして股下部両側のレッグ部用のくびれ部を残して完全パンツ形状にシール構成されていることを特徴とする請求項1から10までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項12】略砂時計様の展開形状をもつ完全パンツタイプ紙おむつ用シート部材は肌側の透水性シートと外側の非透水性シートと両シート間に介装される適宜形状の吸水性部材を基本構成として有することを特徴とする

10 請求項1から11までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつ。

【請求項13】請求項1から12までのいずれか1項記載の完全パンツタイプ紙おむつにおけるギャザー構成。

【請求項14】請求項7記載の完全パンツタイプ紙おむつ製造用の弾性部材条供給方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は特に人体へのフィット性に優れる完全パンツタイプ紙おむつに関する。

【0002】

【従来の技術】従来完全パンツタイプの紙おむつにおいては図1の製品形状および図2の展開形状に示すように多数の弾性部材を配設することにより着用者の肌へのフィット性を向上する工夫がなされてきた。これら弾性部材は腰回りのフィット性を向上するウエストギャザー(1)、腰回りのフィット性を向上するフィットギャザー(2)、脚回り及び股下のフィット性を向上するレッグギャザー(3)により構成される。しかしこのような不連続な配設構成では各部分ごとを引き締めるのみで着用感およびフィット性は充分とは言えない。

【0003】また、従来技術では3つの部位に100g程度の張力を持つよう弾性部材を配設し、この部分だけでおむつのずれ落ちや体液の横漏れを防止する効果を持たせるため、ウエスト部を必要以上に締め付ける構造となるのが通例であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記の完全パンツタイプ紙おむつにおける着用感およびフィット性を改善し、かつウエスト部を必要以上に締め付ける構造を解消し所期の目的を収めたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は完全パンツタイプ紙おむつのパンツ全体(前身頃および後身頃の全域)に弾性体を均等に配設することにより着用感、フィット感を向上する。又本発明はパンツの前身頃および後身頃全域に、左右方向に走行する弾性体条を、夫々非交叉状(略平行的)に多数本配設したギャザー構成を有し、しかも各弾性体条はその太さと走行距離により段階的に変化する張力で配設されている。

【0006】更に又本発明はウエストギャザー域の弹性

3 体条、フィットギャザー域の弾性体条およびレッグギャザー域の弾性体条がそれら各域の境界域なしに連続的に前後に配設されている。更に又本発明では前身頃および後身頃全域に配設された多数の弾性体条からなるギャザー構成が結果的に全体として木目状配置を探っている。更に又本発明では前身頃および後身頃の弾性体条群は左右のシールライン部では前後に略均等(等間隔)に配設され、各弾性体条は夫々中間部(左右の中心線)に行くに従い股下部に向かって膨出湾曲状に張り出し、しかも張り出している度合いが、ウエスト部からレッグ部に向かって漸次増大している。更に又本発明では左右のシールライン間に等長の弾性体条群を前後に夫々等テンションで架け渡し、各弾性体条を夫々中間部に行くに従い股下部に向かって膨出湾曲状に張り出させ、かつその張り出し度合いをウエスト部からレッグ部に向かって漸次増大せしめて各弾性体条の張力をウエスト部からレッグ部に向かって段階的に増大させている。

【0007】更に又本発明では各弾性体条の張力を80gから400gに段階的に変化させることによりパンツ全体のフィット性を改善し使用感を良好にしている。更に又本発明ではギャザー構成が、前身頃および後身頃を前後方向に通る中心線に対して左右対称であり、股下部を左右方向に通る中心線に対しては前後対称もしくは前後非対称である。更に又本発明では前身頃および後身頃における各弾性体条群の股下部に向かって張り出した各膨出湾曲部の最接近間隔を20mm以上と設定している。更に又本発明の完全パンツタイプ紙おむつは前身頃および後身頃が股下部を介して連続した略砂時計様の展開形状をもち、それら前身頃および後身頃の対応両側縫合シールラインとして股下部両側のレッグ部用のくびれ部を残して完全パンツ形状にシール構成されている。更に又本発明の略砂時計様の展開形状をもつ完全パンツタイプ紙おむつ用シート部材は内側(身体側)の透水性シートと外側(衣服側)の非透水性シートと両シート間に介装される適宜形状の吸水性部材を基本構成として有している。

【0008】以下に本発明を図面に示す実施例によって説明するが、本発明はこれにのみ制約されるものではない。

【実施例】本発明の完全パンツタイプ紙おむつの外観図を図3で展開図を図4で説明する。パンツの前身頃(11)および後身頃(12)の全域に、左右方向に走行する弾性体条(13-1)、(13-2)…(13-n)と(14-1)、(14-2)…(14-n)を、夫々非交叉状(実質的に略平行状)に多数本配設したギャザー構成としている。各弾性体条(13)および(14)はその太さおよび/または走行距離により段階的に変化する張力を配設されている。

【0009】ウエストギャザー域の弾性体条(13)および(14)、フィットギャザー域の弾性体条(13)

10

および(14)、およびレッグギャザー域の弾性体条(13)および(14)がそれら各域の境界域なしに連続的に前後に配設されている。即ち各弾性体条群(13)、(14)は左右のシールライン(15)、(16)全長に亘って略等間隔の位置からスタートしている。従って弾性体条群(13)、(14)の配設によるギャザー構成が全体として木目状配置を探っている。

【0010】前身頃(11)および後身頃(12)の弾性体条(13)群および(14)群は左右のシールライン部(15)、(16)では前後に略均等に配設されているが、各弾性体条(13)、(14)は夫々中間部(左右の中心線)に行くに従い股下部(17)に向かって膨出湾曲状に張り出し、その張り出し度合いが、ウエスト部(18)からレッグ部(19)に向かって漸次増大している。このギャザー構成は次のように製造することができる。紙おむつシートの左右のシールライン(15)、(16)間に必要な全数の等長の弾性体条(13)、(14)群を前後方向略等間隔に夫々等テンションで架け渡し、各弾性体条(13)、(14)を夫々中間部に行くに従い股下部(17)に向かって膨出湾曲状に張り出させ、かつその張り出し度合いをウエスト部(18)からレッグ部(19)に向かって漸次増大せしめて各弾性体条(13)、(14)の張力をウエスト部(18)からレッグ部(19)に向かって段階的に増大させ、この状態で紙おむつのシート上に接着固定する。

【0011】前身頃(11)および後身頃(12)における最股下部の弾性体条(13-n)および(14-n)は左右の中間部で最接近するが、その最接近間隔は少なくとも20mmである。即ち弾性体条(13-n)および(14-n)の各膨出湾曲部の最接近間隔(d)が20mm以上である。上記の各弾性体条(13)、(14)の張力は(13-n)から(13-1)に向かって又(14-n)から(14-1)に向かって夫々80gから40gに亘って段階的に変化させるのが好ましい。

【0012】前身頃(11)および後身頃(12)が股下部(17)を介して連続した略砂時計様の展開形状をもち、それら前身頃(11)および後身頃(12)の対応両側縫合シールライン(15)、(16)として股下部(17)両側のレッグ部(19)用のくびれ部を残してシールし完全パンツ形状に構成されている。

【0013】略砂時計様の展開形状をもつ完全パンツタイプ紙おむつ用シート部材は内側(身体側)の透水性シートと外側(衣服側)の非透水性シートと両シート間に介装される適宜形状の吸水性部材を基本構成として有している。

【0014】以上のように本発明では着用感およびフィット性にすぐれた完全パンツタイプ紙おむつを得ることが出来た。

50 【0015】

5

6

【発明の効果】完全パンツタイプ紙おむつのパンツの前身頃および後身頃全域に、左右方向に走行する弾性体条を、夫々非交叉状に多數本配設したギャザー構成を有することにより着用感およびフィット性が向上した。

* 1.

ウエストギャザー

2.

フィットギャザー

3.

レッグギャザー

11.

前身頃

12.

後身頃

13-1…13-n.

前身頃の弾性体条

14-1…14-n.

後身頃の弾性体条

15、16.

左右のシールライン

17.

股下部

18.

ウエスト部

19.

レッグ部

d.

弾性体条 (13-n) と (14

-n) との最小間隔 (中間部の相互間隔)

【図面の簡単な説明】
【図1】 従来の完全パンツタイプ紙おむつの外観図である。

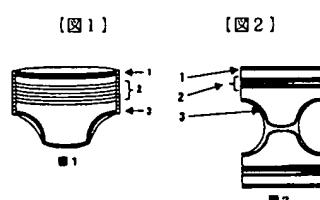
【図2】 従来の完全パンツタイプ紙おむつの展開図である。

【図3】 本発明の完全パンツタイプ紙おむつの外観図である。

【図4】 本発明の完全パンツタイプ紙おむつの展開図である。

【符号の説明】

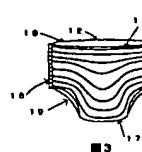
*



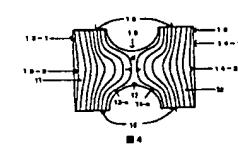
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 松山 容子
東京都新宿区西新宿6-22-1 株式会社ク
レシア内

Fターム(参考) 3B029 8D09 8D10 8D12 8D13 8F07
4C098 AA09 CC12 CC27 CE05 DD02
DD06